

例会日：毎週木曜日 12 時 30 分
例会場：岐阜県郡上市八幡町小野 67(八幡建設 2F)
TEL (0575) 67-0314 FAX (0575) 67-0005
E-mail:rc-8man@abeam.ocn.ne.jp
URL:http://gujohachiman-rc.com/

会 長 : 水上成樹
副 会 長 : 平岩憲政
幹 事 : 野田三津雄
公共イメージ : 西川 昇
会報担当者 : 大川達也

2022 年度国際ロータリー会長：ジェニファー・ジョーンズ(ウイザー・ローズランド・ロータリークラブ・カナダ)
2022 年度国際ロータリーテーマ：IMAZINE ROTARY(想像してください。私たちがベストを尽くせる世界を)

<本日のプログラム>

第 2794 回 令和 4 年 11 月 18 日 第 3 金曜日
美濃・郡上長良川 RC との 3 クラブ合同例会
美濃市：緑風荘にて

<次回の予定>

第 2796 回 令和 4 年 12 月 1 日 第 1 木曜日
年次総会

<前回の記録>

第 2793 回 令和 4 年 11 月 10 日 木曜日
会員卓話 永瀬和郎会員

司 会 進 行	山下友幸親睦委員長
点 鐘	水上成樹会長
ソ ン グ	国歌「君が代」・奉仕の理想
情 報 の 時 間	岩尾 誠情報担当責任者

「ロータリーの目的」朗読
「四つのテスト」唱和

新会員入会式 水上成樹会長



新会員紹介 信田清久君

生年月日：昭和 33 年 5 月 6 日
事業所：(株)高垣組
地位：代表取締役
趣味：ゴルフ 血液型：A 型
家族構成：妻 伊津代(S34. 8. 29)
・今年の 4 月に高垣組の社長に就任させて頂いて、このロータリークラブに呼んで頂きました。今まで奉仕ということについてあまり経験がありませんが、奉仕というものを改めて考えて、会社としても個人としても皆様とご一緒に地域に貢献できるように頑張っていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

11 月のお祝 山下友幸親睦委員長
結婚記念日



8 日 山川直保・久代ご夫妻
22 日 河合 修・快子ご夫妻
23 日 廣瀬泰輔・希ご夫妻
28 日 長尾信幸・るみ子ご夫妻
夫人誕生日



10 日 前田弥生様 14 日 河合快子様
30 日 西村綾子様

1 分間スピーチ 長尾信幸会員



本日は結婚記念日のお祝をありがとうございます。今年で結婚 13 年目になりますが、喧嘩も 1, 2 回あったかなくらいで、全く喧嘩しない夫婦です。喧嘩をしないからいいのかというと、お互いあまり干渉し合わない、そんな感じで今までやってきました。今後は結婚 50 年の金婚式を目指して、元気でいたいと思っています。今後共宜しくお願い致します。

出席報告 長尾信幸出席担当責任者

会員数	出席	補正	出席合計	出席率
35 名	25 名	8 名	33 名	94.3%

ニコBOX 可児一彦ニコBOX担当責任者

- ・信田清久君の入会を歓迎します。永瀬さん、卓話宜しく願います。 **水上成樹**
- ・本日入会させていただきます。どうぞ宜しく願います。 **信田清久**
- ・卓話宜しく願います。 **永瀬和郎**
- ・信田さん、大歓迎です。これから宜しく願います。 **和田英人**
- ・信田君、入会おめでとうございます。今後共、宜しく願います。 **西川 昇**
- ・信田君、新入会員を大歓迎します。

河合 修・松森 薫

- ・結婚記念日のお祝をありがとう。
山川直保・河合 修・廣瀬泰輔・長尾信幸
村井裕孝
- ・夫人誕生日のお祝をありがとう。
河合 修・西村 肇・村井裕孝
- ・信田君、入会おめでとうございます。永瀬君、卓話宜しく願います。

平岩憲政・廣瀬泰輔・岩出明喜・岩尾 誠
可児一彦・松森 薫・村土時男・永瀬和郎
西川 昇・西村 肇・小笠原正道・酒井智義
坂本 仁・霜野賢一・竹内巧治・田中義久
和田英人・渡邊 剛・山川直保・山下友幸

幹事報告 西村 肇副幹事代理

- ・RI 日本事務局よりロータリー財団月間リソースのご案内
 - ・RI 日本事務局より 2022 年手続要覧掲載予定時期のご案内
 - ・ガバナー事務所より 2025-26 年度ガバナー候補者の推薦について
 - ・ガバナー事務所より「第 20 回記念ロータリー全国囲碁大会」結果速報
 - ・比国育英会バギオ基金より第 44 回バギオ訪問交流の旅のご案内
 - ・関 RC より IM についてのご案内
 - ・美濃 RC より 3 クラブ合同例会について
 - ・郡上市社会福祉協議会より賛助会費協力のお礼
 - ・関中央、可児 各 RC より例会変更及び休会のお知らせ
 - ・11 月の RI レート 1 ドル=148 円
- < 拝受 >
- ・RI 日本事務局より財団室 NEWS
 - ・比国育英会バギオ基金より「バギオだより」93 号
 - ・桑名北、可児、関中央 各 RC より週報

委員会報告

竹内巧治社会奉仕委員長

- ・ロータリー文庫贈呈式の報告

村井裕孝会員増強委員

- ・会員増強委員長会議の報告

岩尾 誠情報担当責任者

- ・今月の IDM のお知らせ

西川 昇 IM 実行委員長

- ・IM 実行委員会について

会長の時間 水上成樹会長



皆さん、こんにちは。信田さん、入会ありがとうございます。どうぞ宜しく願います。

先日、ふるさと祭りと和良の鮎祭りでポリオ撲滅募金活動を行いました。金額ですが、鮎祭りで 31,970 円、八幡のふるさと祭りで 24,212 円集まりましたので、財団へ送らせて頂きます。また、先ほど竹内さんから報告がありましたが、今日の午前中にはちまん図書館でロータリー文庫の贈呈式を行ってきました。その時に、日置市長からお礼状を頂きました。これは毎年行っていますが、一番最初は昭和 63 年に 50 万円ほどの寄付から始まっています。その後は 3 万円から 4 万円ほどの寄付を毎年行っていて、累計の冊数が 1,225 冊となっています。この事業は、今後も続けていきたいと思っておりますので宜しく願います。色々な書籍がありますが、子供達のための本が一番読まれるということを言われました。地区補助金なども活用できれば、今より多くの本が寄贈できると思っておりますので、また考えていきたいと思っております。

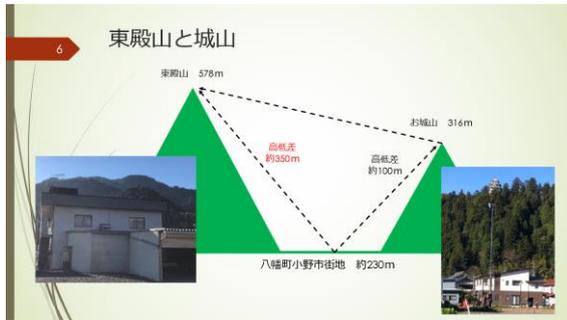
会員卓話 永瀬和郎会員



皆さん、こんにちは。本日は信田さん、どうもおめでとうございませう。本日初めての卓話をさせていただきます。宜しく願います。

何を話そうかと思ったのですが、趣味が山歩きで結構やっていて、日本アルプスや北アルプス、南アルプスなど大体登ってきました。でも、このところは体の不調でできませんでしたが、久しぶりに東殿山に登ってみました。以前、山川会員の卓話に出てきて、その中で自然景観としての開発について振られてみえたので、どうなのかなと思いつつ行ってきました。もとより、東殿山は郡上にとって歴史的にも価値のある山のひとつですが、なかなか険しくて近寄りたところがあると思っていましたが、10月26日に行ってきました。実は、脊柱管狭窄症の診断を受けてまして、それでもまだまだ動ける状態なのですが、やはり途中が心配だと思いつつ、できるならばまだ山歩きをしてみたいし、もう一度くらい白山にも登ってみたいと思い、どこまで大丈夫か自分でも知っておきたかったというのも動機のひとつです。全長3時間程度なら自分で行って帰ってきて大丈夫だろうと思ったことと、卓話の話の種になるだろうという考えもあって、そういうきっかけにしました。私の妻が体育会系なんですけど、一緒に行けば万が一途中で足がつっても何とかしてくれるだろうという思いがあって、一緒に行くことにしました。そして、ここから山歩きが始ま

ります。ウィキペディアにも赤谷山城もしくは東殿山城としてページが出ています。古い城と新しい城があったり、結構歴史のあるところで、大和の篠脇城の東氏がこっちに移ったりもしていますが、なんであんな変な所に城を作ったのかなと疑問も残った一日でした。



左側の写真は小野から見た東殿山で、右側が小野から見たお城山です。高低差でいうと、小野から見るとお城山は大体 100m くらいですが、東殿山は 350m ほどで、比較するととても高い山になります。



これが地図で、愛宕公園から登って行って、少し戻って赤谷川という所を下っていきます。途中のルートは整備されているというほどでもなく、三の曲輪、二の曲輪とあって、そして赤谷山城で、その先に東殿山があります。乙姫の方に下りていく道もあります。この途中から赤谷川を下りて行って市役所の裏に出られます。



実際の記録写真です。登り口は三十三間堂の祠で、すぐに東殿山・赤谷山城の説明の看板があります。何年かぶりに三十三間堂を行ったり来たりしながら登って行きました。ちょうど三十三間堂の真ん中の 17 番の裏手に祠があり、その横には赤谷山城がここにあったと説明する看板がありました。そこから一気に山道に入ります。入ってすぐくらいは踏み後があって分かりやすいのですが、結構大変な道です。途中にはオリエンテーションの昔の看板が放置されていて、こんな所まで登らせたの

かなということも感じました。ある程度登って行って平坦な部分があると曲輪跡が出てきます。



ここは「大手曲輪跡」となっていて、大手門と同じような意味です。そこから結構大変で、ロープが垂れ下がっているところの踏み後をよじ登っていく感じで、そんな所が何か所か続きます。また平坦な部分が出てきますが、そこが三の曲輪跡です。そうすると、あともう少し頑張ると二の曲輪、一の曲輪という風に登っていきます。



二の曲輪のちょっと手前くらいに赤谷方面、すなわち市役所の裏に出てくる道がありますよという道標があります。以前登ったときよりも、こういった道標がしっかりしていました。昔はなかったこのような「歩道」などの木の道標がありました。二の曲輪跡には木を倒しただけのベンチのようなものがありましたが、そこから口明方方面が綺麗に見えます。そして、もう少し歩いていくとかなり山頂に近くなってきます。



少し平坦になったところで城跡への分岐、赤谷山城跡というのがあります。乙姫方面の上には山頂と小さい字で書いてありました。その分岐からルートを外れて赤谷山城、つまり一の曲輪の跡まで登って行きます。赤谷山城（東殿山城）の看板があり、登った証拠の写真を撮ってきました。そこを過ぎるとまた少し下って行きますが、途中に木の梯子や鎖場がありました。乙姫の方へ行けるトラバース道には進入禁止の看板がありました。そ

こから大きく曲がって裏の方を回っていくと東殿山山頂 578m に達します。



9時50分に出発して山頂に着いたのが11時5分なので、1時間15分で登ることができました。個人的にはそこそこ来たんじゃないかと思っています。ここでも登った証拠の写真を撮りました。山頂に面白いものがあって、三角点のような石が置いてあり、一方には口明方村、その次に八幡町、その裏には相生村と書いてありました。つまり、東殿山の山頂が昔の口明方と旧八幡と相生の境になっていたということです。前に登った時は気付きませんでした。今回話の種にすることもあってじっくり見てきました。景色はどうかというと、一応看板には大日や白山が見えるとありますが、あまり展望は良好ではありませんでした。国有林なので勝手なことはできないと思いますが、もう少し整備して、八幡城を綺麗に見下ろせればカッコいいかなと感じました。山頂まで登るのに道を整備することは、よほどのお金と時間があると思うので、今後行政がどうするかにか繋がっていくんだろうと思います。そこから先ほどの赤谷分岐まで下りてきます。10分ほどで下りてきました。



そこからすぐの所に「水呑場跡石積」という、昔はその辺に谷があって、水を汲んでいたという石垣がありました。そこまではいいのですが、その先が結構大変で、どこへ行けばいいの？というくらい道が荒れています。微かにここかなと思わるところを歩いて行くと赤い紐がぶら下がっていたり、防火用のドラム缶が置いてあったりします。見間違えるような所に木の梯子があったりして、こっちだなということが分かりつつ下りてきました。最後に堰堤があったんですが、そこで迷ってしまって10分くらいロスしました。道がどこへいったか分からなくなってしまったんです。少し戻ったら道が確認できました。赤谷不動の横に20~25mくらいの急な階段、というより梯子があって、

それを下りていきました。そして、最後にやっと市役所の裏に出ました。この写真はそこから東殿山を見返したところです。



12時40分に下山したので大体3時間くらい、途中で休憩していますので、実質2時間半くらい歩いてきました。



国有林ということで、途中にいろんな木の看板があって写真を撮ってきました。国有林の看板があって、荘川営林署さんが担当していますが、「焼くな 森林」と書いてあるのがおかしかったです。9時50分にスタートして11時5分に山頂に到着、12時40分に下山と、ほぼコースタイムの実質2時間半なので、個人的には思いの外無事に歩けたと思っています。疲労感を除けば腰の状態に違和感はなく安心して歩いています。翌日と翌々日あたりは脚の疲労がひどかったです。あと、もう少し登り易く整備されて、もう少しだけ山頂からの白山や八幡城の展望が良ければいいかもしれません。今の状態だと、みんなで登りましょうという山ではなかったと思います。次は、乙姫の方からも登ってみようかと思っています。登る以上は、東氏とか東殿山城について知見を深めてみれば、より興味深いのもかもしれないと思った次第です。ご清聴ありがとうございました。